

参考資料 2 市民の意見

答申とりまとめにあたって審議会に出された主な市民意見

(1) 発生抑制・再使用・再生利用

発生抑制の推進に関して
主な意見の例 拡大生産者責任の導入が資源循環型社会の形成には必要である。 再使用、再生使用のできない製品の生産を抑制する施策を講ずべき。
経済的手法の導入について
主な意見の例 分別品目の拡大を行い、事業系ごみの削減を徹底するなどした上で導入すべき。 びん・缶・ペットボトルにデポジット制度の導入を図る。 スーパーやコンビニの買い物袋を有料化すべき。
店頭回収等、事業者回収の拡大に関して
主な意見の例 行政が店舗に対してお願いするだけでなく、資源物の正しい出し方などをPRする。 衣類の店頭回収ボックスの増設を希望。 再生利用等促進物の指定制度をもっと活用し、店頭回収を拡大すべき。
資源デポの拡大等、多様な資源回収手法の整備に関して
主な意見の例 資源回収ボックスの設置を拡大すべき。
分別収集の拡大に関して
主な意見の例 分別収集をより細かく徹底する必要がある。 資源ごみが混じっていたら取り残しをするなど、収集を厳しくする。 容器包装リサイクル法の費用負担について国に改正要請を続ける。
家庭系生ごみの再生利用の推進に関して
主な意見の例 堆肥化を実践している人の声を行政が取り上げるべき。 電気式生ごみ処理機の助成を行うべき。
事業者による再使用・再生利用、適正排出の推進に関して
主な意見の例 事業者においても分別を徹底させ、生ごみ、紙ごみ、繊維についてもメーカー等にもどすべき。 過剰包装をなくすこと、容器包装のリターナブル化を検討すること。

事業系生ごみの再生利用の推進に関して
<p>主な意見の例</p> <p>一定以上の生ごみ排出事業所には、生ごみ処理機の設置を義務付けるべき。</p>

せん定枝の再生利用の推進に関して
<p>主な意見の例</p> <p>刈り草、裁断枝の堆肥化を図る。</p>

指導・監督体制の整備に関して
<p>主な意見の例</p> <p>他県の事業系ごみまで引き受けて焼却しないこと。 事業所に対する指導をもっと本格的にし、搬入チェックも実質的なものにすること。 市役所など公共施設でのごみ箱廃止など、市民や事業者の見本となるべき。</p>

グリーン購入の推進に関して
<p>主な意見の例</p> <p>プラスチック製容器を繰り返し使用できるよう、詰め替え製品の種類を増やして欲しい。</p>

NPOなどとの連携に関して
<p>主な意見の例</p> <p>NPOとして活動している団体に協力すべき。</p>

有害物質対策の強化
<p>主な意見の例</p> <p>蛍光管、乾電池、廃プラ、難燃剤、塗料の容器などの有害ごみの分別収集を徹底すべき。</p>

(2) 処理システムのあり方

分別排出方式の推進に関して
<p>主な意見の例</p> <p>集積場所における「古紙」「その他プラスチック製容器包装」の分別排出のための専用容器を設置。</p>

収集方式の見直しに関して
<p>主な意見の例</p> <p>家庭ごみの収集回数を減らし、その分、資源回収の回収を増やす。 カラスの退治、研究、指導。 収集時間を可能な限り決める。</p>

中間処理の高度化に関して
<p>主な意見の例</p> <p>脱焼却を図ること。</p> <p>中間処理の調査研究は産学を含む三者一体となって取り組むこと。</p> <p>栄工場の改修は税金の無駄遣いであるため中止し、コンポストセンターとリサイクルコミュニティセンターにリニューアルすること。</p>

最終処分場の確保に関して
<p>主な意見の例</p> <p>最終処分場に焼却灰を埋め立てぬよう、焼却灰は溶融固化・エコセメント化すべき。</p> <p>分別収集を促進することにより、神明台処分地・南本牧への埋め立てを早く中止すべき。</p>

有害物質の発生・排出抑制に関して
<p>主な意見の例</p> <p>多種多様な素材、化学物質の混合焼却はどんな有毒ガスが発生しているかわからない。</p>

(3) 環境教育・普及啓発

幼児教育、学校教育の充実
<p>主な意見の例</p> <p>給食で出るごみを分別して資源化するなど、学校生活で実践を通じて環境教育を学ぶ。</p> <p>子供の成長段階に応じたきめ細かな学習プログラムを組み、長期にわたる学習により、ごみ問題を考えられる力を育成することが大事。</p>

消費者教育、事業者教育の充実
<p>主な意見の例</p> <p>理解しやすいリーフレット、パンフレット、手引きなどの作成と配布。</p> <p>消費者へのマスメディアによる環境教育が重要。</p>

支援体制の整備
<p>主な意見の例</p> <p>教師に環境教育ができるよう教育試験項目に入れてほしい。</p> <p>環境意識を高めるため、教師に対し研修を義務化する。</p>

環境情報の提供
<p>主な意見の例</p> <p>企業の環境への取り組みを随時紹介し、良い所は実践させるよう指導することが大事。</p> <p>地域の環境情報の提供について、環境事業推進委員をもっと有効に活用すべき。</p>

その他
<p>主な意見の例</p> <p>ごみ問題は子供から大人まで身近なものとして捉えやすく、環境問題全般の構造を理解するためには有効な問題である。</p>

(4) その他

街の美化について
主な意見の例 ごみの収集、掃除をするボランティアを募集し、チームを作り定期的に活動する。
処理計画について
主な意見の例 他都市の有意な施策を積極的に導入し、市民提案を真剣に検討するなど、計画が資源循環型都市形成のため真に実効性あるものとする事。 これまでの施策の検証を踏まえて処理計画を検討すべき。
政策全般について
主な意見の例 ごみ処理、処分の支出費用の経年変化を示し、市民や事業者の理解と意識向上を図る。 ペーパーレス化でもごみは増えるので、インターネット利用の情報発信も視野に入れるべき。